

5. 川崎の海に行ってみよう

川崎には、魚釣りや干潟の生きもの観察ができる公園があります。海うみの生きものいたちに会いあに行ってみませんか？お天気てんきのよい日に、お弁当べんとうをもって出でかけましょう！

【浮島つり園】

浮島町公園（海風の森）に隣接する全長240mの釣り公園です。羽田空港上空を離着陸する飛行機や、房総の山々を望むことができます。



川崎港の公園マップ Park Map

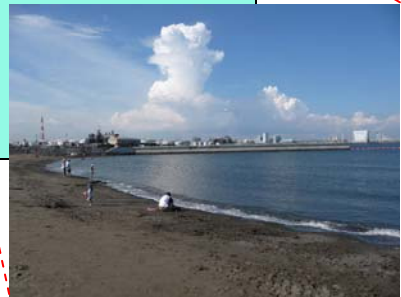


【東扇島西公園】

魚釣りさかなつりができる公園こうえんです。また、芝生広場しばふひろばや展望台てんぼうだいなどがあり、大人から子供まで楽しめます。近くにコンビニなどはありませんので、昼食ちゅうしょくどう等は持参下さい。

【東扇島東公園】

この公園は、平成20年4月にオープンした新しい公園です。この公園には人工海浜（かわさきの浜）があり、生きものいの観察を楽しむことができます。また、汐入りのデッキからは貨物船や飛行機を眺めることができます。



※アクセスや駐車場は、以下のサイトを参照下さい。

施設紹介ホームページ		
浮島つり園	川崎市	http://www.city.kawasaki.jp/guide/guide/gu_2.htm
東扇島西公園	川崎市	http://www.city.kawasaki.jp/58/58kikaku/home/leisure/nisikouen/annai/annnai.htm
東扇島東公園	(財)川崎市公園緑地協会 川崎市	http://www.kawasaki-green.or.jp/ahureru/08_autumn.html
		http://www.city.kawasaki.jp/e-news/info2796/index.html
		http://www.city.kawasaki.jp/58/58kikaku/home/leisure/higashikouenn.htm
全ての公園	川崎市	http://www.city.kawasaki.jp/58/58kikaku/home/leisure/kouen.htm

用語集

【あ】

- ・ 青潮(あおしお)：海面が乳青色または乳白色に変化した現象のこと。貧酸素水塊中にある硫酸イオンは、硫酸還元菌によって硫化物イオンに還元される。大風が吹くと、この硫化物イオンを含んだ低層水が表層まで運ばれ、大気中の酸素と反応してイオウができる。イオウや光を散乱させるため、海面が乳青色または乳白色に見える。
- ・ 赤潮(あかしお)：水中に生存している微細な生物(特に植物プランクトン)が異常に増殖し、水の色が著しく変わる現象のこと。水の色は、原因となるプランクトンによって異なり、赤褐色、茶褐色などの色を呈する。
- ・ 栄養塩(えいようえん)：主に植物の栄養として用いられる言葉。例えば植物プランクトンに必要な栄養は窒素(N)、リン(P)、ケイ素(Si：珪藻および珪質鞭毛虫が要求する)、および微量金属類である。この場合、窒素はアンモニア、硝酸あるいは亜硝酸として、リンはリン酸として、ケイ素はケイ酸としての形態のものが中心であり、これらを総称して栄養塩と呼ぶ。

【か】

- ・ カイアシ類(かいあしるい)：動物プランクトンの分類グループの一つ。種類と数が圧倒的に多いため、動物プランクトンを食べる魚たちの重要なエサとなっている。
- ・ 汽水域(きすいいき)：川から流れ込む淡水と海水が混じり合う場所。
- ・ 珪藻類(けいそうるい)：植物プランクトンの分類グループの一つ。地球上に10万種以上いるといわれるほど種類が多い。茶色の葉緑体を持ち、光合成を行う。他の藻類が減少する秋や冬に増加するため、藻類を食べる生物たちにとって重要なエサとなる。
- ・ 光合成(こうごうせい)：植物や植物プランクトン、藻類など光合成色素をもつ生物が行う、光エネルギーを化学エネルギーに変換する生化学反応のこと。

【さ】

- ・ 絶滅危惧種(ぜつめつきぐしゅ)：絶滅のおそれがある動植物のこと。環境破壊などの様々な要因がある。

【た】

- ・ タイドプール：岩礁海岸や干潟の潮間帯において、干潮時に岩などの底質のくぼみに海水が取り残されてたまったもの。潮だまりとも呼ばれる。
- ・ 多毛類(たもうるい)：ゴカイやイソメ、イワムシなど、環形動物門多毛綱に属する動物の総称。
- ・ 潮間帯(ちょうかんたい)：満潮線と干潮線の間。潮の満ち引きで空気に触れたり海に沈んだりする。
- ・ 底生生物(ていせいせいぶつ)：海や河川、湖沼の水底に生息する生物のこと。海では、主にゴカイや二枚貝などがこれに分類される。

【は】

- ・ バクテリア：微生物、細菌のこと。
- ・ バラスト水(ばらすとすい)：船舶のバラスト(ballast：底荷、船底に積む重し)として用いられる水のこと。無積載で出港するとき、その出港地で港の海水などをバラストタンクに積み込む。バラスト水は立ち寄る港で荷物を積載するかわりに船外へ排出される。その際、バラスト水に含まれている水生生物が外来種として生態系に影響を与える問題が指摘されている。

- ・ 貧酸素水塊(ひんさんそすいかい): 溶けこんでいる酸素(溶存酸素)が極めて少ない水のこと。一般的に、海水中の溶存酸素が 2mg/L 以下になると、多くの生物が生きていくことができない。
- ・ 富栄養化(ふえいようか): 海、湖沼、河川などの水域が、貧栄養状態から富栄養状態へと移行する現象。
- ・ プランクトン: 浮遊生物。自分の力では大きい移動はできず、水中に浮いている生物。
- ・ ベントス: 底生生物のこと。

【ま】

- ・ 藻場(もば): 海藻(草)がたくさん生えている場所のこと。藻場は二酸化炭素を固定したり、幼稚魚の生育場となるなど、生態系にとって大変重要な役割をもつ。

【や】

- ・ 溶存酸素(ようぞんさんそ): 初中に溶けこんでいる酸素の量。これが少なくなると、生物は呼吸ができなくなって死んでしまう。
- ・ 有機物(ゆうきぶつ): 炭素を含む化合物の中で、炭素と酸素からなるもの(一酸化炭素や二酸化炭素以外)をいう。有機物には、生物体内でつくられる炭水化物、脂肪、タンパク質などのほか、人工的に合成された無数の有機化合物がある。

【ら】

- ・ 卵胎生(らんたいせい): 動物のメス親が卵を胎内で孵化させて子を産む繁殖形態。

引用文献

- ・ 岡村収・尼岡邦夫（1997）「日本の海水魚」山と溪谷社
- ・ 益田一他（1988）「日本産魚類大図鑑」東海大学出版会
- ・ 奥谷喬司（2000）「日本近海産貝類図鑑」東海大学出版会
- ・ 西村三郎（1992）「原色検索日本海岸動物図鑑 [I]」保育社
- ・ 西村三郎（1992）「原色検索日本海岸動物図鑑 [II]」保育社
- ・ 奥谷喬司・波部忠重（1985）「学研生物図鑑 貝 I 巻貝」学習研究所
- ・ 奥谷喬司・波部忠重（1985）「学研生物図鑑 貝 II 二枚貝～」学習研究所
- ・ 武田正倫（1982）「原色甲殻類検索図鑑」北隆館
- ・ 波部忠重、小菅貞男（1967）「標準原色図鑑全集 3 貝」保育社
- ・ 波部忠重（1972）「続原色日本貝類図鑑」保育社
- ・ 今島実（2004）「環形動物 多毛類」生物研究社
- ・ R.T.アボット・S.P.ダンス（1985）「世界海産貝類大図鑑」波部忠重・奥谷喬司訳、平凡社
- ・ 内海富士夫監修、西村三郎・鈴木克美著（1971）「標準原色図鑑全集 16 海岸動物」保育社
- ・ A. キャンベル編、山田真弓監修（1987）「動物大百科 14 水生動物」平凡社
- ・ 日高敏隆監修、中坊徹次・望月賢二編集（1998）「日本動物大百科」平凡社
- ・ 奥谷喬司編・監修（1986）「決定版 生物大図鑑 貝」株式会社 世界文化社
- ・ 神奈川県レッドデータブック 2006 web 版 (<http://www.e-tanzawa.jp/rdb06/>)
- ・ 水産庁（1998）「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック（水産庁編）」社団法人日本水産資源保護協会
- ・ 市川市・東邦大学東京湾生態研究センター共編（2007）「干潟ウォッチングフィールドガイド」株式会社誠文堂新光社
- ・ 峯水亮、武田正倫、奥野淳兒（2000）「海の甲殻類」株式会社 文一総合出版
- ・ 鈴木利一（2007）海の生産を支えるプランクトン，平成 19 年度長崎大学水産学部公開講座「環境共生の水産学-持続可能な海と魚の利用をめざして」，長崎大学学術研究成果リポジトリ
- ・ 岩国市立ミクロ生物館 監修（2011）「日本の海産プランクトン図鑑」，共立出版株式会社
- ・ 千原光雄（1970）標準原色図鑑全集 15「海藻 海浜植物」保育社
- ・ 山田幸雄・瀬川宗吉（1956）「原色日本海藻図鑑 増補版」株式会社保育社
- ・ 吉田忠生（1998）「新日本海藻誌」株式会社内田老鶴園
- ・ 徳田廣・川島昭二・大野正夫・小河久朗（1991）「図鑑 海藻の生態と藻礁」株式会社緑書房
- ・ 東京湾再生推進会議ホームページ
(http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/index.htm)
- ・ 川崎市港湾局ホームページ (<http://www.city.kawasaki.jp/58/58kikaku/home/top.html>)
- ・ 川崎市教育委員会ホームページ
(<http://www.city.kawasaki.jp/88/88bunka/home/top/stop/zukan/z0609.htm>)
- ・ 国土交通省関東地方整備局，横浜港湾空港技術調査事務所，株式会社東京久栄（2009）平成 21 年度東京湾人工海浜モニタリング調査報告書（要約版），平成 22 年 3 月
- ・ 八都県市首脳会議・環境問題対策委員会・水質改善専門部会（2007）きれいな東京湾を目指して（普及啓発資料パワーポイント：<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/toukyouwan.html>）